

清流ニュース

発行所
八王子市子安町 1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室
電話 (042) 646-0287 (代)
FAX (042) 644-1164
http://seiryuji.jp/org/

平成二十六年 度 総 祈 願
佛立開導日 扇聖人 二生誕二百年 慶 讚
佛立開花運動 第二年度 御奉公 成就
本年 度 自 主 教 化 誓 願 達 成 之 御 願
日序上人 御十七回忌 報恩 御奉公 成就
役中 後 継 者 養 成 法 灯 相 続 促 進

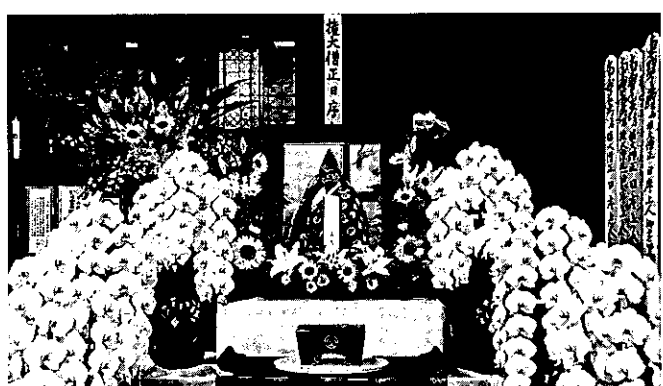
八月の御総講日

一日 十時	御修行日
七日 十時	バースデー総講 日序上人報恩祈念 (二万遍口唱念)
十三日 十時	高祖御命日
十七日 十時	開導御命日
廿五日 十時	門祖御命日
十二日 十時	於 清 流 寺 高祖御速夜 (二万遍口唱念)
十六日 十時	開導御速夜
廿四日 十時	門祖御速夜
三十日 十時	於 羽 村 別 院 歡尊御命日
廿五日	御総講後 教区長会議

六月二十四日

御講尊 小山日誠上人ご親修 先住 御十七回忌盛大に厳修

去る六月廿四日、十時三十分より、御講尊・小山日誠上人のご唱導の下、有縁のお教務方のご出座をいただき、盛大に厳修されました。



八月朝参詣強調週間

第二、第六日

第三、第四連合担当

八月の朝参詣強調週間は、二日から六日迄の五日間で、第三、第四連合が担当です。

- 八月二日(土) 国分寺教区
- 三日(日) 小平教区
- 四日(月) 東村山教区
- 五日(火) 小金井教区
- 六日(水) 昭島教区

日序上人報恩ご奉公円成のためお参詣に気張りましょう。

本月の御妙判

感 応 道 交



譬へば籠の中の鳥なげば空とぶ鳥の呼ばれて集るが如し。空とぶ鳥の集れば籠の中の鳥も出でんとするが如し。口に妙法をよび奉れば我が身の仏性も呼ばれて必ず顕れ給ふ。梵王帝釈の仏性は呼ばれて我等を守り給ふ。仏、菩薩

の仏性は呼ばれて悦び給ふ。(法華初心成仏抄1691) 十界互具の教えから考えれば、凡夫のわれらにも仏性が具わっています。それは籠の中に鳥が飼われているようなものです。われらが法華経を信じて口に南無と唱える

のは此の籠の中の鳥が空に向かつて鳴くのと同じということになります。鳥は籠の中にも空を恋い慕って鳴くのですが、われらが御題目を唱えるのも仏の住み給う寂光浄土を此の娑婆世界に実現することを理想とし、自ら之が実際に貢献せんことを仏に向つて誓う意をあらわすのであります。このようにお題目を唱へて日々の修行を重ねていくうちに心の煩悩が次第に払われて仏の心と吾等の心が通い合っているという自覚が

生まれてくるということですが。それはあたかも空を飛ぶ鳥が籠のまわりに集まってくるようなものということができます。空の鳥も籠の中の鳥も同じ鳥であります。仏の具えらるゝ仏性もわれらの仏性も同じ仏性です。たゞ仏は多くの修行を重ねてその仏性を十分に開発されたのですが、我らは修行が足らぬために折角の仏性を具え乍ら、智も徳もはるかに仏に及ばないのであります。

我は是れ已に成ずる 仏なり
と、梵網経に説かれているのです。空の鳥が籠のまわりを集つてきて鳴けば籠の中の鳥も鳴き乍ら飛び立つてその籠から外へ出ようとする如く、われらの心が仏の心とかよい合っていると知れば喜びを感じて一層信心増進するといわけてです。これが感應道交といふことでもあります。

又、梵天、帝釈等も仏性を具えているわけですから、こられた感應道交して、われら

をいつでもおまもり下さるのであります。
「諸天昼夜常為法故而衛護之」といってお経文は、いつでも、「感應道交」しているところに諸天の守護があることを示されたものです。

上行所伝のお題目を口唱すれば、心が菩薩になりますから、「我心菩薩ト成ラバ菩薩ヲレヲ助ク、又菩薩、人ヲタク、十界互具此ノ如シ」(開化六)

と御指南下されてあり、感應道交するような御信心を日々させて頂く事が肝心です。

日序上人御十七回忌報恩ご奉公 御有志奉納者氏名(その五十八) (教区順。敬称略。順不同)
二十六年七月十三日現在
合計七九一名、一、五四九口